

(七) 教育課題

I 生産消費部会

1 生産の増強

A 工業の振興

a 資本の蓄積

- あらゆるむだをはぶいて最低生活を営み着実に資本を蓄積していかなければだめだということは一応わかっているがそれを実行に移そうとする強い身の態度に欠けている。
- 余裕のある者はぜいたくをしてもよいという古い考え方が支配的であり余裕のある者もその余裕は生産増強のために向けられなければならない日本の現状に対する深い理解がなく それを実行しようとする態度が足りない。
- 最低生活にも及ばない人々の中には平常の満たされぬ生活を一時の慰安や 不健全な慰安に金を浪費しその困窮を一層深めている場合が少なくない。

b 金融の円滑化

- 資金の堅実な使用をはかることによって更に一層円滑な融資を図ろうとする態度ができていない。
- みせかけや策略だけで融資を図ろうとする態度が強い。

c 経営の堅実化

- 資金を 生産を高めるための本質的な設備の充実にふり向けて生産を増強し堅実な生産を営もうとせず 外見やその他の無駄な部面にそれを消費してしまう。
- 見栄や目先の打算に左右されて長い見通しの下に経営を営もうとする態度が弱い。
- 繊維特に価格の変動のはげしい人絹を取扱う関係から止むを得ない点もあるが人々が必要以上に投機的になり堅実な経営をめざして努力していこうとする人が少ない。

d 生産技術の改善

- 個人並びに市の工業の将来を見通し その発展について真剣に考えている人が少ない。
- 新しい製品 よりよい製品を製造するために必要な科学的研究方法が必要であるという意識が足りない。
- 一部の進歩的な機業家 (M氏 T氏他) 生産を高めるための種々な対策に対する研究を重視しようとしているがその努力は充分結集されてこない。
- 科学的な方法を身につけていない人達が多い。
- 生産の増加に対して保守的 非科学的な態度
- 生産技術の低い工場が少くない。
- 経済的貧困の切り抜けを労働量の増加によってだけで解決していこうことを考えている染織の技能のすぐれた人々が極めて多くこの人々によって足利の経済が支えられている。技能をもっているものが尊重されず又技能をもっている人も自己の技能をみがき伸ばすことの意義を自覚していない。
模倣性には富むが独創性が足りない。

e 生産の計画化

- 自分達の生産生活を広い視野のもとに考えたり、歴史的な発展過程の中において把握したりする態度が育てられていない。
- 社会の経済的動向を把握する知識に乏しく、他の業者のまねをして購買力の変動をまともに受ける。
- 機業不振に出合った場合の生産生活の多様性に対象する態度の無計画性生産の不利に伴う転換の無計画、労力の使用が無計画
- 従業員の働き振りに工夫が足りない。
- 仕事に当たった場合あらかじめ計画を立て、合理的な手順で進めようとする態度が乏しい。

f 機械設備の改良

- 機械設備の改良に対する認識が不足し、従って又その意欲も乏しい。
- (経営の堅実化と同じであるが)
生産にとって本質的に重要とは思われない外郭や住居や見栄を張るためのものに金を費しながら機械設備のような何より優先させなければならないところには僅かしか金を注ぎこまない。

g 仕事に対する熱意と努力

- 役員の仕事振りに工夫が足りない。
- 自分の仕事に対する研究心と熱意が不足し、ねばり強くやり抜こうという態度に欠けている。
- 熱し易いがさめ易い。
- 働らくこと(汗を流しての労働)をさげすみ、楽な仕事で金をもうける人をうらやみあやかろうとする様な気風が特に強い。
- 努力して働く人々を心から尊重し、楽しい生活にあこがれるよりは、世の中に幸福をもたらすような仕事で生活を築こうとしない。
- 戦前の労働尊重のかけ声は利用するためのものでありやがては否定を打建てなおされなければならないものではあったが戦後そのかけ声もうすくなり、更に利用されたことに対する反はつから労働に対する考え方が極端に混乱してしまっているためこのような傾向は甚だしい。

h 同業者の協力

- 自分の家だけでは協力するが同業者全体の協力を自覚的に進めようとする意識が弱い。
- 自家本位の考え方が強く生活の大部分が孤立した家の中で完結する傾向がある。不況に対する恐怖から、他を押しつけても自分のうちだけは残らなければという考えが強く共同して不況を乗り切ろうとする意識が弱い。
- 利己的であり他人の成功をねたみ、他人をおとし入れるような考え方が広くある。
- 協力して仕事をなしとげる態度に乏しい。
- 機業家の利己心が強く資本や作業の協同化ができない。施設や設備なども共同して施設したり管理したりする態度に欠けている。
- 商業組合や工業組合のような民主的な共同組織をお互の努力によって強化し、自分達のためのより一層有意義な組織にしようとする態度が欠けており、できあがった組織にもたれかかり或はこれをあきらめてはなれてしまう。

- 先に立つ者が組合をだしにして自分の利益だけをはかろうとする傾向がみられる。
- 柄と糸使いをたよりに生きている足利の織物業の協力しにくい点を意識するのあまり、協力できるところまで協力しない態度が作られている。
- 協力していけるところは協力しどこまでも協同して合理的な計画生産を立てようとする人が少ない。
- 能率の不均こうや、人々の生活の緊張度に相違があるから協力できない。
- ぜいたくしておって働らかない人と骨を折っている者と一緒にはできない。
- 争議のないことだけをよいことと考え、より高い相互の自覚において生産の増加が最も好ましいことを強く意識しない。
- 組合員に強い自覚にもとづいた自主性なく、一部の極端に破壊的な、考え方に左右されて自分をかえりみない。
- 労働組合をけぎらいし、組合をもりたてようとする人は頭から危険思想の持主だときめつけてその正常な発展を図ろうとしない人が少なくない。

i 労務管理の適正化

- 工業労働の保護や安全をはかるために科学的施設・技術を取り入れようと考えている人が僅かである。

B 農業の近代化

a 農業の近代化

- 労働の質よりも量によって収入を増そうとする傾向が強い
- 頭をつかってやらなければだめだと口には言いながら、いざとなると最も間違の少ない忍苦的な勤勞だけをことさらに尊重し、肉体をすりへらすような合理的な勤勞による生産の向上に対して否定的である。
- 若い者、嫁等に対してもこのような文句を言わず考えもしないでただ黙っていわれた通り働くものがほめはやされる。
- 改良された農法のまづいところに対しては、それみよがしにあざわらうような風潮がかなりみられる。
- 過去の生活苦を極度に警戒し、少しでも安全な方法としての経験やしきたりに閉ちこもうとする。
- 百姓はまづいものを食って骨を折って働いてさえおれば食える、ただ、少しでも骨惜しみをしたり、ぜいたくをしたりすれば、百姓家なんてつぶれてしまうんだという考え方に強く支配されている。
- 労働力のあるにまかせて一入一人の能率のことを余り考えていない。

b 多角経営の促進

- 経営の多角化に関して作物の栽培知識を取り入れる基礎能力が不足しているとともに研究の態度が足りない。
- 仕事に対する計画性がなく見通しが立てられない。
- 何とかなるという運命観に支えられて、現実には埋没して、脱脚しようとする意欲に欠けている。
- 生産の不利に伴う転換の無計画
- 畜種や種苗を改善しようとする意識が低い。
- 改善しなければ不利益であるということを見抜くことが不足している。

c 土地改良

自分の耕地の土壌についての科学的知識の不足

b 農産物価の体系の合理化

- 市場の経済事情がわからない。
- 農業生産の不利に対する楽観的なあきらめの態度が強い。
- 税金や米価等に関して原価を計算し不合理な価格に対して問題を究めようとする態度が作られていない。

e 農業政策の確立

- 不正融資、横領、横流しなどに対して敏感ではない。
- 農業共済組合の災害時に補償される額が常識とも考えられない程少ないようなことがあっても役人のやることはどうせこんなことだと言ってあまり敏感ではない。そして、自分でも何かで機会があればそういうもうけをすればよいのだという考え方が少なくない。

f 農業技術の機械化

進んだ機械や器具の構造機能がよくわからないので、上手に使ったり一寸した故障をなおすことができない。

- 機械はあぶないものと言う気風が年輩の人々の間には依然として多い。
- 労力のだぶついた事情を自分達の力では不可避なものとして考えこうした事情の下にあつては機械化して能率をあげてしまえば却って遊んでしまうから損になる改良された機械を取り入れ能率化しようとする人達を惰農ときめてしまうような気風がかなり強い。……特に篤農家と言われる人達の考えを支配している。
- 先立ってやる人が自分の利益を考え勝ちである（先に立つ者がうまいしるを吸ってしまうという傾向が強すぎる）
- 自分の家の利益になることには熱心であるが他人と一緒にやることについては、目先の自分のうちの僅かな利益に対して敏感すぎ共同作業や共同出荷、農地の交換分合、耕地整理などがうまくいかない。
- 他人と協同して仕事をする場合他人のうちの仕事はいいかげんにやる。（田の草なども協同して作業する場合土をよく中耕しないでにごしてってしまうというようなこと。）
- 共同して使用する機械を取扱う際自分のものの使用よりも乱暴であるというようなことが共同化を妨げている。

g 正常な農民組合の建設

組合員が自分の目先の利益だけのために集っていて組合員同士が助け合うところが少ない。

h 林業の近代化

林産資源の生産に計画性を欠く。

C 資源の開発

a 電力資源の開発

- 日本の再建に電力資源の開発がどの位深い関係をもっているか、更に又これ等の開発をどの様にして行っていくかなければならないか関心が薄い。

d 土地利用の高度化

- 土地を高度に利用する工夫が足りないし、その知識にも欠けている。

c 観光地帯の整備

郷土の観光価値を高めようとしなさい。

- 郷土の価値を人々が理解しない。
- 饑阿寺、足利学校、足利公園等の価値を理解していない。

e 国土の保全

洪水の原因並びにこれの克服に対する知識が不足している。

2 貿易の振興

A 輸出産業の振興

a 新市場の開拓

- 海外の貿易事情を詳しく知って、それに合致した生産や宣伝を強化しなければならない。
- 消費を節約し輸出振興を総べての国民が考えなければならない。

d 外交の円滑化

外交や貿易に関しては自分達の関係したことではないし、又意見を出してみたところで、何の役にも立たないではないか、という考え方が多い。

国民の前に提供される情報や宣伝をよく批判し、又自分の感情に流されず理性的な行動がとれるようにならなければならない。

c 船舶の増強

b 港湾施設の整備

3 消費の適正

A 家庭経済の合理化

a 予算生活の促進

- ゆきあたりばつたりの生活であり、消費生活を計画化しようとする考えが乏しい。
- 家計簿を記入して消費生活を計画化しようとする意欲がない。
- 消費生活にいろいろな不合理があってもこれを努力して改善しようとする意欲に乏しい。
- 多くの家庭が金銭の収支をこまかに考えていない。
- 収入には目の色を交えるが使うことになると無駄使いが多い。
- 買物に際して良い品を安く買う工夫が足りない。

B 国家的立場に立った消費の適性化

- 分に応じた生活をするのが大切であり、ぜいたくのできるような身分のものはぜいたくをしてもいいと考えており、そのようなことに矛盾を感じない。まだない収入をあてにして傲慢な生活をしていることに対して強い危惧や矛盾を僅かな人達を感じない。
- ぜいたくのできる人であっても国家的、社会的な立場からぜいたくは許されないという社会的な意識が形成されていない。
- 定額の家庭で節電についても電気料が同じだからと不用なものもつけているような人々が少なくない。
- 無自覚な耐乏をする人はあるが自覚的に物を生かして使う工夫が足りない。
- 見栄や遊びのために無駄使いすることが多い。

II 交通、通信、運輸部会

a 道路の拡張整備

自分の地区だけをよくしようと市全体の計画に対する協力や広い視野に立って市全体の施策を考えるとということが少なく自分の地域だけをよくしようとする態度が強い。

- 必要さよりも政治的に強いというようなところに道路が作られるという傾向がある。

d 交通機関の充実

- 運輸業者が利用者の便不便よりも、むしろ会社の利益を追うの余り、他社との共同がなされないという傾向がつよい。

c 通信路線の充実

b 電話の普及改良

e ポスト、公衆電話の増設

f 交通、通信、運輸機関の機能の十分な発揮

機械器具の取扱の技術が全体的に低く、無理な使用がなされたりして、その機能が

- 十分に発揮されないきらいがある。
- 交通、通信、運輸の利用者の公德心が欠けているためにこれらの機能が発揮されないとともに、利用に際して互に不快な感じをもつことが少くない。
- 従業員の誠実と親切が足りない場合が少くない。

g 交通安全

- 対面交通のような交通道徳が守られていない。
- 子供の路上の遊びが止むを得ないこととして顧みられない。
(子供の遊び場のこともただ困ったことだというだけである)
- 障害物の路上占有を当然のこととしている。

II 保健娯楽部会

I 健康な身体をつくる

a 伝染病の予防

- 伝染病に関する知識が不足し必要以上に恐れたり逆に殆んど無とんちゃくであったりする。
- 伝染病にかかるとひたかくしにしてかくす傾向が強い。
- 予防接種や注射のとき口実を設けて受けようとならない者が少くない。
- はえや蚊の撲滅のために互に協力しようとする態度がない。
はえしらみ蚊等の害に対する理解が浅く、従来何でもなかったから大丈夫だという
- ような考え方が強い。

d 結核や性病の予防と治療

結核に対する正しい知識がないため、必要以上に結核患者に精神的な負担をかけている。又治療に当って適切にして効果的な治療を行わないものが少くない。

- 性病をいたずらに恥じて正しい治療を受けないものが少くない。

c 健康の保持増進

- 運動競技に関する理解の不足
- 筋肉労働をやっている者には体育など考える必要はないという考えが強い。
- 体育を楽しむ態度ができていない。
- 宴会やつき合いなどのときに暴飲暴食をして健康をそねているものが少くない。

- ・自分のうちの子供については一応心配するが地域全体の子供達の健康について市民の関心は低い。
- ・寄生虫の防除虫歯の予防せねばならない。

d 妊産婦の保護

e 乳幼児の健康

妊産婦についての知識や母親の育児知識が不足している。

f 未成年者の喫煙禁止

未成年者に過度の飲酒喫煙のため健康を損ねている者が少ない。

g 不正な麻薬使用の絶滅

麻薬の使用者が急速に増加してきた。

h 公衆衛生

たんやつばを道路にしたり、下水にごみを捨てたり、大小便をさせたりする。

i 店舗の衛生化

子供商いだけでなく食品製造並びに販売等の取扱いに当り非衛生的な点が少ない。

j 工場管理

職業によって労働と休養との調和を考えないので労働過重になる傾向がある。

2 健全な娯楽の育成

不健全で歓楽的頹廢的な娯楽をする者が多い。

- ・投機的射倖的な娯楽、頹廢的な娯楽機関が多く又それが盛んに行われている。
- ・社会的雰囲気の不健全さが性的な面、流行歌等において特に目立つ。
- ・市民の多くが健全娯楽が自分達にないことにそれ程敏感でない。
- ・青少年に対する健康的な保健娯楽機関を設置しようとする意識が弱い。
- ・運動、競技が自己の健康増進のために楽しく行うということではなく、いつも勝敗にこだわりすぎてしまっている。
- ・余暇を作り健全な娯楽を行うことを遊び人のしぐさとみているような気風がまだかなり強く残っている。
- ・余暇を無駄に使用しているむきが多い。
- ・俗悪な雑誌が多く見受けられしかもこれが極めて多く読まれている。
- ・射倖的な娯楽が極めて多い。
- ・人々が一緒に楽しみ、自分達の魂を高めるような娯楽がつくられていない。

XII 政治保全部会

1 国際的地位の確立

広く情報を求め、これを批判し、中正な態度を確立しようとする態度に欠けている。

2 政治の民主化

a 立派な勝れた政治家を選び出す

社会や政治を批判する力を養わなければならない。

- ・選挙権を金銭によって売り渡すことをそれ程悪いと考えず、又そのような結果結局自分達の利益を奪われてしまうことに対する理解が浅い。
- ・国民が、国民全体の利益よりも一党、一派や狭い一地域の利益ばかり考えて、全体

的な発展によってもたらされる自分達の利益について考えない。……選出された人々に対しても近視眼的な視方でみる傾きが強く究極において一時的な利益の公約にまよわされて眞の意味での地域の発展をもたらすと考えられる施策を支持するような代表を選ぼうとしない。

- 書かれたものをよんだり、他人の話を聞いたりして広く社会的な事象や政治的事象を理解する能力に欠けている。
- 言語や教理の基礎技能が、日常の生活にもっと密接に関連づけられて、役立つものになる必要がある。
- 政党或は政治家に対する支持の相違がうらみやにくしみとなって後々まで残り人々の社会生活をまづくしていることが少なくない。
- 選挙のうらみを受けることを恐れる意識と、政治は政治屋のやるものだという無関心とが人々を政治から一層遊離させ、積極的に自己の考えを代表する人を選ぶということを妨げている。
- 人々の経済的基礎の弱さから生れる結合としての平和的協調的態度を殊更に大切に考える。
- 選挙をすると村や町内がうまくまとまらなくなり町内や村がわれて、あとまでまづいから選挙をやらないでいこうとする。この際異った意見を出すものは後々までも異端者扱いを受けるようなことが少なくない。
- 近所の人だから縁故だからというだけで投票し深く考えない場合が少なくない。封鎖的な態度が強い。
- 民主主義への情熱を失い「仕方がない」という暗いあきらめにもとづく現実妥協的な態度が根づよく人々を支配し政党や政治家の不正を許さず、矛盾を追求しようとする態度がつかられていない。
- 自分勝手であり他人の意見を聞き入れてこれを偏見なしに批判しようとする態度が作られていない。
- 公の席上で正しいと信ずる意見をためらわずに主張する人を異端者の様に考える人が少なくない。
- 公の席上で正しいと信ずる意見をためらわずにいう態度が養われていなければならない。

b 政党の健全な育成

- 親分子分に近いような関係で結ばれた関係が政治家の中にある。
権謀術策を弄することが政治であると平気で考えている政治家がおる。
国家全体の利益や興隆よりも政党の利益を大切と考える政治家が少なくない。
- 市や国の発展にとつてはあまり重要でない政党争いや、派閥争が少なくない。
- 政治に正しい輿論に従おうとする態度が足りない。
- 前出政治家に対する人々の冷徹な批判をより一層養いこのような政治家として資質を欠いている政治家をにくむ気持が高まらなければならない。

c 公僕意識の徹底

- 役所風と言われる気風が未だ残っており、誠実なサービスの態度が不足している。
- 役所の仕事の合理化、能率に対する吏員の努力は不十分であるという声が少ない。
- 公私を混同させ、役得を当然のこのように考えている人達がないとはいえず 又

そのような不正を絶対に許さないというような輿論も形成されていない。

- 役人は自己にあやまりがあつた場合その誤りを謙虚な気持ちで認め改めていくような態度が作られなければならない。

d 適正課税と納税の促進

- 納税について正直者とおとなしい者が馬鹿をみるという傾向が少くない。そしてこれらの人々にはたとえ不合理であることがわかっているにもかかわらず却って重くされる長いものにはまかれておつた方が身のためだという没主体的な態度がつよい。納める能力を有しているにもかかわらず滞納したり、脱税したりしている人も少くない。

e 政治組織機構の再編成

- 国や地域の発展のための組織、機構の改革が個人的な地位の確保や政治家の政治勢力の有利不利によってゆがめられるという声が少ない。

f 国家権力の規正並びに遵法

- 憲法の規定が国家権力の根本であることに対する理解が浅い、法治国家の国民としての自覚が浅く、悪法に対しては先ずそれをくぐることを考え、民主的に改めようとする意欲に乏しい。

A 社会計画化の問題

a 総合開発の推進

- 爲政者の側に総合的开发についての計画性の欠如と、市民の側における計画の理解とその計画に対する自覚的な協力性

b 中小企業対策

- 中小企業のおかれている現在の立場を正しく理解するための科学的な社会観、経済観が確立されなければならない。
- 中小企業者自体の中小企業のおかれている立場に対する自覚的な反省が加えられなければならない。

c 衣食住対策

- 国民の衣食住生活に対して政府は長期の計画の下に着実な施策を行おうとする態度が確立しなければならない。
- 国民のすべての階層が自覚的な耐乙を行おうとするような意欲を起させる施策が打立てられなければならない。

d 農村対策（特に 2.3男対策）

e 失業対策

- 未亡人身体障害者の就職
- 一般失業者の就職
- 新規卒業生の就職
視野が狭く、且つ見栄や眼前の小利に迷わされて適職に、就かないきらいが少くない。
- 受けついで家業であるからというので仕方なく働いている。
- 今更他に変わる職もないから仕方なしに自分の職業を営んでいる人が少くない。
- 批判的な子はその子が一生懸命やっておつてもきらわれ、ただ素直でよく言うことを聞いて働らく子供だけを殊更尊重するという傾向がつよい。

f 婦人少年労働の問題

g 社会保障制度の強化

健康保険証によって治療を受ける際不必要な治療を受けようとする人が少くない。

- 生活扶助や教育扶助を受けなければ損だといって働かない者や又逆に扶助を受けることを極端にきらったりする人々が少くない。
- 困窮者は自分の努力が足りないから困窮しているのだから、援助などする必要がないという考えをつよくもっている人が少くない。

3 保 全

a 災害の防止

水害対策や火災対策に対する各人の分野は国家や自治体に移り協力して対策をすすめるという態度がなくなってきた。

- 防災施設愛護の観念がうすらいだ
洪水の原因に対する科学的知識が足りない。
- 自分の地区以外の災害に対しても国家的な見地から深い関心を示していかなければならない。

V 教養、芸術、宗教部会

1 民主的な人間関係の樹立

a 民主的な家庭の建設

新しい民法やその精神が人々に充分理解されていない。

- 新しい民法が親や老人はどうなってもいい、というように定めていると考えている。
- 個人の立場が「家」の外聞や立場に没却されすぎて個人に対する配慮が極めて浅い。
- かなりよきはなってきたけれども、婦人や子供の地位は低い。
民主的な家庭が子供達の人間形成にとって大きな意味をもってくるということに対して表面的な理解しかもたない。
- 夫婦の間で男は金をとるのだから金を使うのが当然だというような考え方が意外につよくこれの無駄使いのために妻子の苦勞の絶えないことが少くない。
男女同権、男女平等に関する理解が浅く正しい意味で把握されていない。
- 嫁、姑の間に特にお互の人格を認め合った人間関係が導き入れられなければならない。
- 新しい家に入り極めて多くの気兼ねになやまされている、嫁の立場を理解してやる。

b 職場における民主的な人間関係

c 社会生活の民主化

社会のためになると考えての誠意にもとずいた意見と自分勝手、反対のための反対というような破壊的な考えとを混同している。

自分の立場ばかり考え相手の意見を公平な気持で受け入れようとしなない。

- 自由と放縦とをはきちがえ社会人として最低守らなければならない点に関しても守らない者が少くない。
- 常に世の中をよくなることを考えて自己の行動を伸していこうとするような考えが僅かな人の支持しか得られていない。

- ・自分から進んで協力すべきことに協力する態度が養われていない。
- ・儀礼的な交際の習慣が存続していて、人々の生活の能率化や向上を妨げている。
守られなければならない礼儀が失われつつある。
- ・物の仕方、言い方がぞんざいであり他人の気持をそこねることが少くない。
- 指導者と被指導者の間において
男女の関係において
男女の特性の相違と価値の相違の如く考え、女性卑下の気風がまだかなりつよい。
同じ仕事の量であり男性に比してすべてに劣らぬと思われるのにただ女性であるために男性に比して女性の給料の低い場合が少くない。
権力と財力に対して人々は極端に無力である。
- ・社会生活上の諸問題の解決にあたって常に権力や金の力だけで解決しようとする。
- ・自主的な努力によって障害を克服しようとせず権力にたよる。
- ・かげ口やうわさ話が多く、自分の正しい意見をあくまで主張し話し合うということが少ない。
階層的な秩序の固定化に対して肯定的態度である。
- ・部落役員、青年会役員、村政への参加
同業組合の役員に対して
現在の役員や指導者層の人々を批判する際も事を荒立てないということだけに特に
気を使う。
自分なんかそんな時何も言うべきではないという劣等感にささえられた没主体的な
態度がつよく「長いものにはまかされていた方が身の爲だ」という考え方におちいつ
ている。
寄合いのときの話し合いの際も平穩だけを大切に考えてたとえそれが建設的な意見
であってもそのような意見の出ることをきらう傾向がある。

2 生活の改善

A 衣食住生活の改善

a 衣生活の改善

見栄や習慣にとらわれて衣生活の合理化、簡素化が行われない。

- ・清潔にして健康的なふだんぎに対して注意が払われていない。

衣料利用の技術が乏しい。

b 食生活の改善

- ・年中行事やその他の場合には種々と配慮しむやみにふるまうが ふだんの食生活に
対しては機械的、本能的で深い配慮を行わない。
- ・食品の栄養価や調理法等に関する科学的な知識が乏しく技能も乏しく、安くて栄養
価の高いものを上手に調理して食生活を豊かにするという技能にも欠けている。
- ・米食にのみ依存しようとする考え方が強い。
- ・家庭における食生活が主人本位になりすぎ栄養摂取上片寄りを生じ、家族間に差別
感が生じ易い。
- ・家のしきたりや栄養価のある食物が作れないという家庭がまだある。
つき合いや会合のときなど明らかに健康を損ねてまでも暴饮暴食しなければならない
様な気風を断ちきることができない。

c 住生活の改善

- ・見栄や外聞が殊更に重んぜられて簡素化能率化がはばまれている。
- ・非能率的、非合理的であると思われる財産家の家屋構造を無批判的にまねようというような傾向も少ない。
- ・なれやしきりに流され住宅の構造において非衛生的、非能率的な点に対する反省が加えられない。
- ・住宅政策の方向をもつと困窮した人達の生活の向上にむけなければならない。
- ・社会道義が低く借家となると乱暴な取扱いをする

d 習慣の改善

「近所並み」「人並み」が行動の基準であつて、主体性が乏しい。

近所並みでない人々は殊更にひぼうされ、何事によらずいやな思いをさせられる。

- ・慣習に対して全く無批判的に順応して問題をもとうとしない無自覚的な態度がつよく、科学的に批判しようとする。
- ・宗教的な行事や迷信、風習、冠婚葬祭等においてみとめることができる。
- ・町内や近所の人とのつき合いで無駄な費用をかけすぎる。

e 全体的な問題として

- ・直面している生活の問題に対しても、その多くは実態を究明しようとせず、それを宿命的に受取って、積極的に解決しようという意識が弱い。
- ・日常生活において、いろいろな不合理を改善し、まだ切りつめられると思われる無駄な費用を節約し、計画を立てて収入と消費生活とのバランスをとるために努力しようとする。
- ・時間の合理的な使用に慣れないためにつとめて時間を守ろうとしない。
- ・ルーズな時間の使用を改め家庭生活を能率化しなければならない。

3 平和意識の高揚

- a 平和愛好と国際協調
- d 両態勢共存に対する理解
- c 民族愛国情の問題

4 文化の振興

a 文化施設設備の充実

教育の社会的機能に関する人々の理解は極めて浅く平面的であり長い目で教育の効果を中心から期待しようという態度がない。

△生活の窮迫や過重な労働によつてではあるが日常の生活に流され、それに没却して文化的向上に対する積極的な態度があまりみられない。

※家庭における幼児教育児童教育において、又青年会や文化活動等その他の社会教育活動において必要な施設・備をととのえることについて無関心である。

- ・特に子供の成長にとってのぞましい施設（遊園地、小公園等）の設置に対する熱意が乏しい。

b 社会教育の充実

- ・現在ある社会教育機関はより深く市民の生活の課題を適確に把握、科学的な施策を立てる必要がある。

c 婦人会、青年会活動の促進

人々の間に教養を豊かにし生活を明るくしようとする態度が弱い。

- ・生活を文化的に高めようとする希望をもたない人々が多い。

- ・余暇があっても、それを利用して教養を高めようとする態度をもった人が少ない。
- ・日常の生活を能率化して時間を生み出そうとする意欲や態度が足りない。

(婦人会や青年会活動に関して)

婦人会や青年会を組織しても、会員としての意識が低く企画運営等に関し意見を吐かず一部の幹部の人達のみで動いているにすぎないような会が見受けられる。自己の意見を主張するとともに他の人の意見にも耳を傾け、多くの人達の意見によって仕事をすすめていこうとする民主的な態度が会員に作られておらないため、常に会の運営がゆきづまってしまう。

(指導者の選出に当り、既定の社会的な地位や、財力や権力にこだわって、会の振興にとって適した人が選出されないことが少なくない)

d 勤労青少年の教育に関して

学校へいくと理窟ばかり達者になって生意気になってしまうという考え方が多くの使用者の中になりにくく、潜在して勤労青少年の向学心の充足を阻んでいる。学校を卒業してしまえば、勉強はおわりだという考えが青少年の中になりにくく、自から進んで学ぼうとしない者が少ない。

- ・自分のうちの子供の成長に関しては深い関心を示すが、地域の子供全体のよりよい成長のために強い責任を感じ、協同して努力しようとする人が少ない。

e 幼児教育の促進に関して

- ・幼児教育の必要に対する認識が足りない。
- ・幼児教育についてどのような方法をとったらよいかについての知識が不足しているために系統的、計画的な教育が行われない。

f 家庭環境の整備

新聞やラジオ等の報道を批判して取り入れようとならない人々が少ない。
新聞やラジオ等も新奇を求め或は単なる娯楽的のものが主な地位を占めていて常に主体的な立場で実証的なデータに基づいてものごとを批判し理解しようとする態度が培われていない。

g 公民館、図書館の増設強化

公民館や図書館が一般の人々によってより一層利用されるようにならなければならない。

- ・市民の読書能力が図書館の本をよむまでになっていない。本がむづかしすぎる。

h 青少年の補導対策の強化

青少年の不良化についてただ困ったことだと言っているだけである。

- ・不良化の原因に対するしっかりした認識をもたず又その原因を排除するために地域の人々がその努力を結果しようとならない。
- ・青少年の不良化の原因の幾つかが成人社会の責任であることに対する理解が浅い。
- ・不良化の責任を青少年や狭義の教育の責任であるとのみ考え、家庭の保護機能の向上、国民全体の経済的水準の向上、成人社会の建設的な理想の確立等に深い関係をもつことを充分理解していない。
- ・青少年の自己制御力を養い放縦な行動を抑えられるように育てなければならない。

i 郷土を理解し愛郷心を養う

郷土の美や史蹟が人々の愛郷心の養成に役立つように工夫されていない。

- ・郷土の発展に努力した人々の業績を明らかにし愛郷心の養成に役立つように配慮さ

れていない。

5 道義の昂揚

a 新しい道徳心の確立

権利の主張と責任の自覚を深めなければならない。

b 人間性の高揚

国並びに地域の指導者により一層豊かな人間性が要請されている。

c 営業道徳の確立

相手を倒したり、ひっかけたり、する商人が少なくない。

d 交通道徳の徹底

乗物の乗降に際し我先にと争うようなことが未だ見受けられる。

・対面交通が守られていない。

e 公衆道徳の徹底

・公共物の使用の仕方が無責任であり愛護の観念がとぼしく、自から進んでそれを愛護しようとするような態度がみられなくなった。

・道路にたんやつばをする者が少なくない。

・下水に平気でゴミを捨てる。

・道路を物置のように考えており、通行を妨害していることをそれ程悪いと思っていない。

・公園の樹木や街路樹を若木のうちにいためつけうまく育たない。

f 性道徳の高揚

清純な男女間の交際が次第にその影をうすくしている。

・男女の交際の正しいあり方を理解していない。

・正しい恋愛観、結婚観がいだかれなければならない。

g 遵法の精神の涵養

・法規に対する理解がとぼしく守られない法規に対しては、これを改めるか、或は守られない条件を取払うこと努力しないで、うまく逃れくぐるとうとする。

・小さい職場では労働基準法など守れるものか、という考えが当然のこととされている。

6 宗教心の涵養

a 宗教的情操の涵養

・多くの場合、一応は何等かの既成宗教を信仰してはいるものの信仰に裏付けられた清純さと、強さと、うるおいが人々に欠けている。

・家庭における宗教的な行事も無批判的に行われており、その意味が明らかにされ宗教心を培う上に役立てられていることが少ない。

・迷信や邪教に迷い家族を不幸におとし入れている人達が少なくない。

7 芸術

a 立派な芸術を愛好し生み出す力を養う

農村の人達、生活に追われている人達の音楽や絵に対する関心は低く、子供達の藝術心を伸ばすための配慮が払われていない。

・絵や音楽を愛好する青年や子供は柔弱な道楽子であるというような考えが大人に強い。

生活領域の分析

目標のスコープ

能力表のスコープ

I 個人生活	1 健康	1 身体	発育	機能	栄養
		2 運動	体操	スポーツ	遊戯
		3 保健	衛生	安全	制度
	2 知性	4 用具	言語	数量	研究
		5 科学	自然	人文	応用
		6 思想	人生観		
	3 徳性	7 道徳	礼儀	習慣	倫理
		8 宗教	迷信	宗教	信仰
	4 情操	9 音楽	声楽	楽器	
		10 美術	絵画	造形	
		11 文学	詩歌	文章	
		12 芸能	映画	演劇	その他
II 社会生活	5 家庭生活	13 生活様式	風俗	習慣	住居
		14 家族関係	教育	秩序	和合
	6 市民生活	15 協調	交際	参加	
		16 奉仕	民生	共済	援護
		17 公共	防犯	防火	災害防止
		18 報道	新聞	ラジオ	電信電話
	7 民主生活	19 教育	学校教育	社会教育	
		20 理念	政治形態	憲法	
		21 機構	立法機関	行政機関	司法機関
	8 国際生活	22 運用	選挙	政党	
		23 国際親善	国際理解	交歓	文化の交流
	9 生産	24 世界平和	国際信義	戦争防止	国際協力機構
25 資源		人的資源	天然資源	動力資源	
26 原始産業		企業形態	生産技術	生産物	
27 近代産業		企業形態	生産技術	工業製品	
III 経済生活	10 流通	28 分配	商業	貿易	金融
		29 運輸	陸上	水上	航空
	11 消費	30 個人的消費	衣	食	住家計
		31 公的消費	組織	制度	
	12 労働	32 就労	選職	職務	
		33 条件	給与	時間	施設
34 組織		組合	保護施設	法規	

教育目標（国家基準）の系列

憲法教育基本法	学校教育法			指導要項
<p>社会の必要 児童生徒の必要</p>	<p>個 人 生 活</p>	<p>①国語の理解と使用 ②数量的な理解と処理 ③科学的な観察と処理 ④健康 安全 習慣と調和的発達 ⑤音楽・美術 文芸等の理解と技能 ⑥国家 社会の形成者の資質養成。</p>	<p>円満な成長発達のために</p> <p>①健康と生活の基本的な知識 理解 態度 技能 真理の探求 正義の実現 自主的解決 ②学習経験を有効に処理し 問題や環境を処理する能力 基礎的能力の発達 芸術的関心の助長 健全娯楽を営むに必要な技能</p>	<p>1自主的な学習意欲と態度 2鋭い道徳的感情 3話す能力ときく能力 4読む能力とかく能力 5数量的な観察処理 6自然物や生物の愛護 7科学的な観察処理 8絵画 造形 音楽の理解と美的感情 9自然美 文学 芸術の理解と生活の適用 10宗教についての理解と態度 11健康生活の態度と習慣 12余暇利用による心身の健康増進</p>
<p>個性の尊重 平和的な国家 社会の形成者として ○真理と正義の愛好 ○個人の尊厳（個人の価値を尙び） ○勤労と責任感を重んじ。 ○自主的精神に満ちた ○心身の健康（ともに健康な眼）</p>	<p>家庭及び社会生活</p>	<p>①人間相互関係の理解 ②協同と自主自律の精神 ③郷土国家の解理と国際協調 ④社会的活動の促進感情の育成 公正な判断力の養成</p>	<p>民主的 生活の 向上の 資料と して</p> <p>①社会の制度 組織の理解 ②問題を処理する能力 ③個性の尊重 自己の最高度発揮 他人の個性尊重と協力 責任感の養成</p>	<p>13個性の尊重と他人の立場の理解 14家庭及び社会秩序の保持増進 15家庭及び社会生活の能率化 16個人の健康と公衆の健康 17深い同情心と他人の幸福を考える行動 18幼い者への意情 19気持のよい交際 20指導者 協力者になり得る態度 21公私の区別と強い責任感 22社会正義の愛護 23寛容な態度 24社会の機構動向の理解と問題解決能力 25政治 法律の理解と公民の責任 26文化の理解と創造</p>

				27 愛国心と国際親善 人類平和の増進
				28 経済に対する理解と生 産生活の実践
経済生活及職業生活	①衣食住 産業の理 解と技能養成 ②職業の知識技能 ③勤労重視の態度 ④個性に応じた職業 の選択	わが国復興のため	①経済機構・生産 流通 消費の過程 の相互依存の理解 ②職業生活に必要な 能力 ③勤労愛好の精神	29 職業家事についての知 識技能 30 職業の理解と選択 1 職業に努力精進する態 度 32 仕事の能率化と忍耐心 33 経済生活の知識 34 資源愛護と開発利用 35 品物を生かして使う態 度 36 計画的な消費生活

編集後記

われわれは自分たちの無力をかえりみず現場と教育委員会の強い要望を何よりの支として教育研究所開設以来教育目標設定という困難な仕事を、常に所の中心事業として継続研究してここに5年、幾多の問題点を残しているとは思うけれども一応完結させることができたことをよろこぶものである。

かえりみればわれわれの未熟さと時間的制約とがいわけではなく存在していたために、数多くの調査の結果を整理し解釈しその一つ一つを貴重な資料として総合し構成してゆく困難な仕事を、十分に解決することが出来ず粗雑さや食い足りない数多くの不備欠陥を感じ反省させられている。

特に最初からこの点だけは突込んで明かにしなければならぬと考えていた、現場の実践によって明らかにすることの出来る実践研究の課題を、より深く把握することができなかつたという点に関しては、素直に足りないところをひれきして批判を仰ぎ意見をいただいてさらに検討を加え深く掘り下げていきたいと思っている。又われわれがこの目標設定の仕事をするに当たって、最も感激したことは現場の大きな支援と共に地域の各層から選ばれた教育目標設定委員の方々が、従来かつてみながかつたところの深い関心と熱意を示してこの目標設定の仕事に取りこんでくれたことであつた。こうした協力は今後この目標を實踐に移すにあつても少からぬ意義をもつてくるものと確信している。

終りにこの研究を進めるに当って、御指導と御協力を賜つた国立教育研究所の飯田晃三先生、矢口新先生並びに静岡県立教育研究所長滝熊之助先生、油井先生に深く感謝の意を表すると共に、市立学校教職員の皆様の絶大なる御支援に感謝し、尙教育目標設定資料の整理に終始中心となつて研究を進められた川田昇所員の御努力を謝する。

こう綴っている時に研究所にも………凋落の秋の淋しさがひしひしとおしよせて専任所員の現場復帰の声が何処からか噂されて真実となつて實現されてゆく？ そうなると誠によい時期にこの教育目標設定の仕事が完結したものだとしほ感慨無量なものがある。この機会に本書と共に従来研究所で刊行した研究物教授参考資料の活用をお願いして撰筆する。